

## 「インプラント周囲炎を治療する」

講師：吉野 敏明先生

日時：平成24年4月8日(日)

場所：大阪・ハービスプラザ



村瀬 雅典 (兵庫県)

平成24年4月8日、大阪のハービスプラザにて第2回関西支部研修会が開催されました。

今回は、午前に神奈川県横浜市開業の吉野敏明先生をお招きし「インプラント周囲炎を治療する」と題して非常に興味深い講演をして頂きました。

具体的な内容としましては、以下の4つでした。

- ①インプラント治療における、細菌検査と免疫検査の意義と重要性について
- ②Er:YAG laserを用いた、画期的なインプラントフィクスチャーのデブライドメントについて

③Photodynamic Therapy:手術時における、インプラントおよび周囲組織の抗菌治療とは？

④インプラント周囲炎において、失われたインプラント周囲組織における、再生・再建治療とは？

現在、インプラント治療を行う先生が増える中、安易な抜歯、重度歯周病患者に対する初期治療なしでのインプラントといった現状が問題視されています。安易にインプラント治療を行うのではなく、感染源に対して、必ず適切な歯周治療を行い、インプラント体に歯周病原細菌を感染させないことが重要







であるということを知りました。

また、今後の歯周治療において、細菌検査、免疫検査を通じて、患者特有の細菌叢を把握し、それに対して行う抗菌薬治療、また、レーザーや Photodynamic Therapy を用いた治療など、といった新たな知識を得ることができました。

また午後からは株式会社マルミ歯科商店から吉田英浩先生をお招きし「歯科医院でのデジタルシステムの運用とその現状/将来の可能性」と題し講演して頂きました。

歯科界におけるデジタル化も急速にすすんできているなか、その特徴、複雑さなどをよく理解しなければいけないことを感じました。iPad を利用した、患者に対しての十分なインフォームドコンセントを得るための患者説明用ソフトの開発がすすんでいる



とのことでした。また後半はセレクト、光学印象について会場からも活発な意見の交換ができました。

今後もこのような有意義な研修会に参加させていただき、日々の臨床に生かせる知識を学びたいと思います。